



国労せんだい

No. 2614
2011年11月10日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

各地から支援米届く

早期復旧・復興に向け 心温まる支援に感謝

実りの秋、西日本を中心とした各地から、支援物資として新米が地方本部に届けられている。
地方本部内では、地震と津波による家屋損壊等の被害とその復旧、また原発事故による放射能対策問題など多くの課題が山積している中であるが、各地の機関、組合員からの心温まる支援に対しては、心から感謝を申し上げたい。以下に、届けられた支援物資等の内容と組合員の手紙を掲載し報告する。

苦しく辛いが頑張っ

この度の東日本大震災で被災された方々にお見舞いとお悔やみを申し上げます。
地震・津波による被災は一瞬にして日常生活と生命を奪ってしまうという現実を見せつけられました。
この震災の復興・復旧に向け何か出来ないかと思い、国労名古屋地方本部に相談したところ、仙台地方本部を紹介されましたので、新米（コシヒカリ）30kg×3袋と少ないですが送らせていただきます。
地球温暖化の影響か、こちら岐阜県加茂郡白川町も天候不順の影響で、米の収穫時の大雨と冷夏により例年と比較して二割減となり、また品質も全体的に良くな

- 8月24日 北陸地本富山県支部 義援金
- 9月13日 国労岡山地方本部 義援金
- 9月29日 国労北陸地方本部 富山県支部 米 30kg×10袋
- 10月4日 国労名古屋地方本部 (上記熊崎氏) 米 30kg×3袋
- 10月12日 国労北陸地方本部 富山県支部 米 30kg×3袋
- 10月13日 国労北陸地方本部 石川県支部 米 30kg×7袋
- 10月20日 国労近畿地本 米 30kg×4袋

支援物資等報告 (到着順)

8月9日 北陸地本福井県支部 義援金

岐阜県加茂郡白川町下佐見 熊崎 善和

なお、支援を受けた米等については、宮城・福島など関係支部に分配を要請し、順次被災した組合員に届けられている。

被災三地本が招かれる

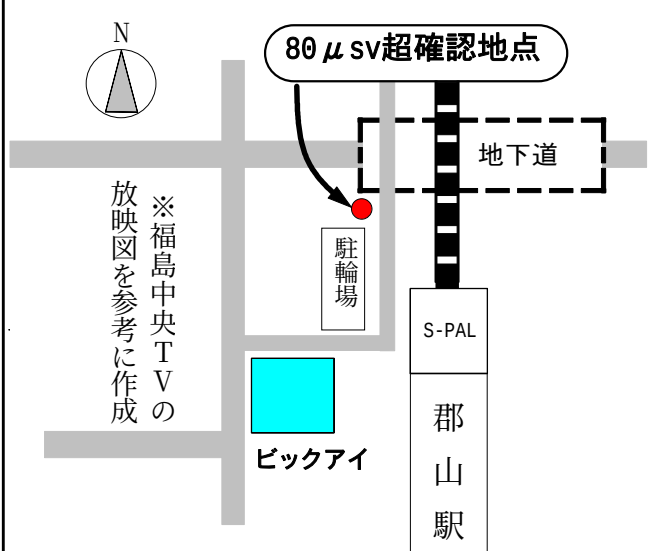
長野で反原発集会

10月26日、長野国労会館で長野地方本部東北信支部と長野地本共催による「反原発・福島第一原発と東日本大震災の実態に学ぶ集会」が開催された。
集会には被災した地方本部として盛岡地本齊藤庄司委員長、仙台地本から五十

員を含む社員の奮闘などが紹介された。
特に、福島原発事故の放射能汚染にかかわるJR会社の対応は、社員のみなならず利用者を含めた、「安全・安心とは何か」をあらためて考える集会になったと報告がされている。
※集会では、長野地本を始め、中南信支部、東北信支部、車両所支部より激励の見舞金を頂きました。心より御礼申し上げます。【敬】

郡山駅前で高濃度汚染箇所

福島中央テレビが放映



10月27日、福島中央テレビの夕方のニュース報道によれば、郡山駅西口の植え込みで、非常に高い放射線量が測定されたという。
同ニュースでは、「福島中央TVに寄せられた情報を元に調査したところ、植え込み（上記略図参照）の土から上部5センチ付近で最大で毎時80μSv超の放射線量が測定された」と報道した。
報道では、付近は多くの市民が通行しており、また高校生の通学路にもなっており、早急な改善が求められることも通行を控えるよう呼びかけ

東北三地本で交流深める

宮城松島で活動家交流集会開催

国労東北協議会は、10月22～23日、宮城県松島において「東北三地本活動家交流集会」を開催した。

集会では、国労本部真名子書記長、東日本本部松井書記長よりそれぞれ、不採用問題の終結から今後の国労の課題について報告がされた。

国労東北協議会では、10月22～23日、宮城県松島において「東北三地本活動家交流集会」を開催した。

集会では、国労本部真名子書記長、東日本本部松井書記長よりそれぞれ、不採用問題の終結から今後の国労の課題について報告がされた。

特別報告 大船保線区分会の取組み

国労は一つのチーム

最終的には「人と人」 天崎さん



報告する天崎さん

私はサッカーが好きで、NPO法人を立ち上げ、子供達に教えるなどの活動している。組合活動は今は積極的ではない方。

若い人達と付き合いはあったが、拡大は考えていなかった。田村君配属にあたり、分会集会を開き施設利用を会社に求め、機関指導の組合説明会をやろうと意思統一し、みんなで協力しあってきた。昨年は「早いもん勝ちだ」と他労組に言われ、配属と同時に取られ悔しい思いをしたので、配属後すぐに声をかけ、夕方会議室で組合説明会を行うので来てもらえるように話をした。夕方になり約束通り新採の皆さんが来てくれ、説明会を行った。何も難しいことは話していない。

施設利用にあたり、会社は真摯に対応してくれた。

サッカーのシュートと同じで、1試合中で何度もチャンスはない。それくらいの割合の田村君の加入だったと思う。（分会で行なったことは）シュートチャンスを1秒から2秒にするか3秒にするかくらいの事。

分会が組合説明会の開催を決断し、仲間との意志疎通に向け議論を積み上げたこと、会社への施設利用申請、他労組との調整、配属者へのアポ取りをみんなでやったからチャンスが広がり、加入に結びついたと思う。国労も一つのチーム。チームがしっかりしてないと誰も子供は預けない。サッカーと一緒に。良いチームには人が集まる。

今後、田村君が国労が一人の所（不在の所）に行くかも知れない。その時にしっかりやって行けるように育てるのが私たちの役目。一人ではかわいそうとかの問題ではないと思う。最終的には人と人。みんなでやってみましょう。

仕事を覚えて頑張りたい 田村さん

大学では、土木技術を学んだ。前年に入社した人と交流があり、組合は面倒だとこぼしているのを聞いていたので、JRの組合に

ついてネットで調べて大まかに知った。

3月11日は配属通知式で支社にいたときに地震に遭い、当日は10時間歩いて自宅に戻った。入社直後、同期の話では、入寮した人は部屋で何だかよく分からないまま判を押したと言っていた。自分は自宅なのでその時点ではまだ接触はなく、去年入社の人が面倒と言っていたことに納得した。

入社式後の会社説明で組合の話がされ、複数の組合があること、オープンショップ制だから加入未加入は自由なこと、どの組合に加入してもしなくても試験などで差はないと言われた。



加入した田村さん

人事がいなくなり組合の人が来て説明するとも聞いていたが来ないので、それなら入らなくていいやと思っていた。配属日にロッカー室で着替えていると、今日の夕方あけておくように言われ「これか面倒なのは！」と思った。いきなり言われても何も分からないので断ろうと思っていた。

夕方、国労の方から組合について説明されたが、無所属でいようと思っていたので、考えさせて下さいと返答した。他労組に入らないとまずいと同期からは言われていた。東労組は昼休みなど4回来た。浦和のことを聞いたならそんな事実はないと言っていた。「ネットに色々出てるのにどうして？」と思った。

5月から研修になり、3ヶ月間入るので、これで組合から逃げ切れると思っていた。ある時、国労の人と現場長とのやり取りを聞いていて、国労の方の意見に賛同できると思って聞いていた。国労の先輩方は、研修中も色々心配してくれたりした。研修中同期と話題になるのは、国労のおじさんたちがきちんとしているということ。（自分は）そう見ていて、入るならば国労と判断した。同期はマジで？とびっくりしていたが、国労に加入した今も、まわりとの付き合いは変わらない。良い職場に入っているとは思えない。来年からは、若い人は全員東労組に入っているとは言えなくなった。まずは仕事を覚えて頑張りたい。

また交流集会後は、東北協議会第26回総会も開かれ、新たな協議会体制も確立された。	
【喜】	
東北協議会役員	副議長（兼）事務局長
議長	大沼 元 仙台台 （地本執行委員長）
幹事	岩井 幸二 仙台台 （東北貨物協議会議長）
副議長	佐々木 力 盛岡 （地本書記長）
渡辺 敦 秋田 （地本執行委員長）	五十嵐 敬 仙台台 （地本書記長）
後藤 重文 秋田 （地本書記長）	小林 良宏 盛岡 （地本副委員長）

お知らせ

第12回国労東日本本部皇居マラソン大会
11月26日（土）桜田門外「時計台」前集合
署名の集約 日本航空整理解雇事件の公正な判決を求める要請署名は、11月28日地本必着で集約願います

会計監査

お詫び

国労せんだい2613号で、福島県支部選出の地方委員である小椋正さんの氏名の一部が誤っておりまして、ご本人をはじめ関係者の方々に深くお詫びいたします。

退職のお知らせ

9月30日付

鈴木 清美さん
会津若松地区

今野 芳信さん
仙台駅連合

石崎 英治さん
仙台駅連合

菊地 義昭さん
仙・宮運輸区

大石 正昭さん
郡山保線区

大宮 正一さん
仙台電力区

長い間お疲れ様でした